

## 令和3年度第7回経営協議会議事要録

日 時 : 令和4年1月20日(木) 13:50 ~ 16:33

場 所 : Web会議(事務局棟1階大会議室ほか)

出席者 : 小川 久雄、富澤 一仁、大谷 順、宇佐川 毅、有松 正洋、林 一郎、谷 時雄、  
山縣 和也、馬場 秀夫、甲斐 隆博、桑野 幸徳、郷 通子、崎元 達郎、  
平田 雄一郎、芳賀 義雄、福島 絵美、村田 信一、古荘 文子、吉丸 良治

欠席者 : 田嶋 徹

陪 席 : 宮尾 千加子、園田 隆則、立石 和裕

### 議 題

#### 1. 令和4年度予算編成の基本方針について

議事に先立ち、有松理事から、資料5に基づき、令和3年度文部科学省補正予算について説明があった後、資料6に基づき、令和4年度国立大学関係予算案の概要、第4期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の係数及び国立大学法人等施設整備費の内示事項等について報告があった。

次いで議長から、令和4年度予算編成の基本方針(案)を作成したので審議願いたい旨提案があった後、有松理事から、資料1に基づき、内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

◇ DX及びSDGsに関することや全学生に対するデータサイエンス教育の実施等を方針に盛り込んであることは大変素晴らしいことで、積極的に推進いただきたい。

◇ 大学病院が大学の予算編成にどのように関与していくかについて、基本的な考え方だけでも記載してはどうか。

◆ 3月にお示しする「予算配分の方針」において明記したい。

#### 2. 第4期中期目標原案・中期計画案について

議長から、第4期中期目標原案・中期計画案について審議願いたい旨提案があった。

次いで富澤理事から、資料2に基づき、内容(主に12月16日書面会議からの変更部分)について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、議長から、本件については、本日開催の役員会の議を経て、1月21日までに文部科学省に提出する旨付言があった。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

◇ 地元中小企業のDX化を推進するために、経営者や管理者等を対象とするDXリテラシーに関するリカレント教育も検討願いたい。

- ◆ 地域でのリカレント教育も大学の重要な役割であることから、前向きに検討していきたい。
- ◇ 半導体事業は一過性のものではないので、人材の育成など長期的な視点を持って取り組んでいただきたい。

### 3. 令和5年度の医学部医学科臨時定員について

議長から、医学部臨時定員地域枠5人を令和5年度まで延長することについて審議願いたい旨提案があった。

次いで山縣医学部長から、資料3に基づき、内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

### 4. 令和3年人事院勧告に伴う熊本大学役職員の給与等について

議長から、令和3年人事院勧告に伴う熊本大学役職員の給与改定について審議願いたい旨提案があった。

次いで事務部から、資料4に基づき、令和3年人事院勧告の内容と給与改定の概要について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

## 報告連絡

### 1. 令和3年度補正予算について

議題1「令和4年度予算編成の基本方針について」において報告

### 2. 令和4年度予算内示事項について

議題1「令和4年度予算編成の基本方針について」において報告

### 3. 令和2年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

議長から、令和2年度に係る業務の実績に関する報告書について、12月1日付けで国立大学法人評価委員会から評価結果の通知があった旨報告があった。

次いで富澤理事から、資料7に基づき、評価結果の概要について説明があった。

### 4. 国立大学法人熊本大学統合報告書の刊行について

富澤理事から、資料8に基づき、国立大学法人熊本大学統合報告書の刊行について報告があった。

## 意見交換

### 1. 熊本大学病院の経営状況等について

馬場病院長から、資料9に基づき、大学病院での新型コロナウイルス感染症への取組と今年度

の経営状況等について説明があり、種々意見交換が行われた。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

- ◇ 病床稼働率の上昇に伴い職員の負荷も増加すると思うが、処遇の改善についてどのように考えているのか。
- ◆ 医師の負担軽減のため、医師事務補助者の増員を検討及び医師業務のタスク・シフトを推進している。また、増収分を設備投資や研究経費に充当して、勤務環境を整備したいと考えている。給与に関しては大学病院のみでは決定できず、今後の検討課題としている。
- ◇ 大学病院としての地域での先進性についてお聞かせいただきたい。
- ◆ くまもとメディカルネットワークの活用推進、AIを活用した遠隔医療や低侵襲医療に係る人材育成、感染症医療に関する医師の再教育と人材育成、大学病院が有する血液サンプル、手術標本などの生体試料を関係機関、企業と有効活用し、新たな研究や創薬事業に取り組んでいる。
- ◇ 最先端技術の進歩のために、国内外問わず様々な企業及び大学と連携し、研究することが重要である。
- ◇ 大学病院は待ち時間が長いという声を聞くので、待ち時間短縮の成果は広くアピールした方がよい。

## 2. 第4期中期目標期間及び2030年を見据えた熊本大学のビジョン・戦略について

富澤理事から、資料10に基づき、第4期中期目標期間及び2030年を見据えた本学のビジョン・戦略「熊本大学イニシアティブ2030」について説明があり、種々意見交換が行われた。

なお、議長から、本件に関して追加意見等がある場合、会議終了後でも連絡願いたい旨付言があった。

(意見交換の概要は次のとおり。◇は委員からの質問・意見、◆はそれに対する回答等)

- ◇ 永青文庫等の人文社会科学系分野においても企業との連携は重要なので、大学として積極的に推進いただきたい。
- ◇ 8年後の未来を見据えるにあたり、学問的、地域社会的に何が求められるのかを見極める先見性が重要と考える。
- ◆ 流行を追うのではなく動向を見極め、複数の可能性を残しつつ様々な研究を推進していきたい。
- ◇ グローバル基準でのSDGsの達成等は非常に困難と思うが、そこから様々な価値が生み出せる可能性があるため、グローバルな取り組みを是非とも頑張ってください。
- ◇ 単に講義を受講するだけでは高度な英語力は身につかないため、大学で様々な学習プログラムを用意し、学生が積極的に学ぶことができる環境を整備いただきたい。
- ◆ 英語力の向上に関しては教員の意識を変えなければいけないと考えている。その上で、教養としての英語もコミュニケーションとしての英語も身に付けることができるような制度を作っていきたい。
- ◇ コロナ禍により大学や学部の垣根を越えた学習ができようになったことは、教育の面で大きな変革だと考える。

○ 次回開催 : 令和4年3月17日(木) 13時30分から

<配布資料>

- 資料 1 令和4年度熊本大学予算編成の基本方針(案)
- 資料 2 国立大学法人熊本大学第4期中期目標(原案)・中期計画(案)
- 資料 3 令和5年度の医学部臨時定員の暫定的な取扱いについて(通知)ほか
- 資料 4 熊本大学役職員の給与改定について(案)
- 資料 5 令和3年度文部科学省補正予算 ほか
- 資料 6 令和4年度国立大学関係予算案の概要 ほか
- 資料 7 令和2年度に係る業務の実績に関する評価の結果について(通知)ほか
- 資料 8 国立大学法人熊本大学統合報告書2021
- 資料 9 熊本大学病院の経営状況等について
- 資料 10 熊本大学イニシアティブ2030(案)